

大型珪藻コシノディスカスは確認されますが、発生量は前回(12/8)よりもさらに減少しており、海域全般において珪藻類の発生は少ない状況です。窒素は、陸水の影響が見られる海域地先で $6 \sim 12 \mu\text{g at/L}$ 台、他の海域で概ね $3 \sim 5 \mu\text{g at/L}$ 台の値となっています。

(水温) 漁場内平均14.8°C (平年並、昨年比0.1°C低い)。(塩分) 平均32.39psu。前回(32.25)より0.14psu高い。  
(栄養塩、珪藻ほか)

コシノディスカス発生量（海水1Lあたり）は、海域全般に0～50細胞（前回値：10～250細胞）であった。

林崎新漁場以東では、小型珪藻のスケレトネマが確認されたが、発生量は前回よりも大きく減少しており、海水1mlあたり10細胞前後(前回値:50~1,000細胞)であった。

また、高砂漁場以西では、小型珪藻のキートセロスが前回同様わずかに確認された。

④、⑤、⑥では陸水の影響が強く見られ、アンモニア態窒素の値が高くなっていた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	15.8	14.8	14.8	14.9
窒素	5.1	5.9	5.2	3.8
リン	0.56	0.57	0.57	0.51

(12/8) (12/16)

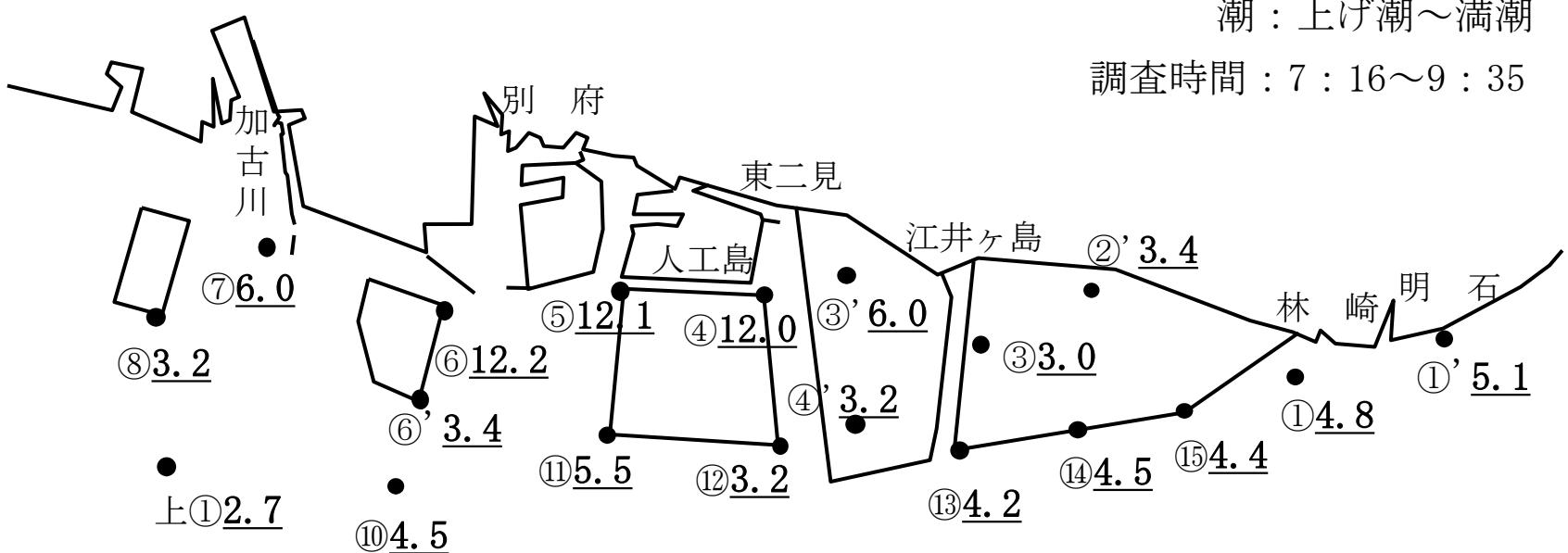
西播地先		伊保地		伊保沖		水温	
	水温	13.2°C			水温	13.3°C	
	窒素	4.3			窒素	5.9	
	リン	0.47			リン	0.48	
白浜地		水温		白浜沖		水温	
	水温	13.1°C			水温	13.2°C	
	窒素	5.9			窒素	3.9	
	リン	0.48			リン	0.47	

2025年12月16日調査

## 栄養塩 (窒素) 図

潮：上げ潮～満潮

調査時間：7：16～9：35



## 水温図

